



燃えあがる炎に

無病息災・無火災を祈願

葛黒に古くから伝わる小正月行事「火祭りがまくら」が2月17日行われました。その昔、寂しさから家々に火をつけてあるいた“権五郎”の心を慰めるために始まったと伝えられている行事で、お酒やお餅などを供え無病息災、無火災、五穀豊穡を祈願し、「ウォー！かまくらの権五郎」と火の消えるまで歓声がこだましていました。

人口と世帯数

(住民基本台帳による)

1月31日現在	(前月比)
総人口 23,856人	(5人減)
男 11,551人	(4人減)
女 12,305人	(1人減)
(出生 14人 転入 44人)	
(死亡 22人 転出 41人)	
世帯数 7,346世帯	(3世帯減)

3月定例会行政報告

平成4年3月定例町議会は、2月14日から26日まで13日間の会期で開かれました。

議会は初日に町長の行政報告と提出議案の大綱質疑が行われ、各常任委員会に付託されました。17日、18日に一般質問、19日から各常任委員会が開かれ付託議案等を審査、26日に本会議を開いて閉会しました。町長が述べた行政報告の概略は次のとおりです。なお、決定した議案等は次回広報でお知らせします。

先端技術開発企業

(株)フジソク誘致

《企画調整課関係》 大館能代空港については、運輸政務次官をはじめ、エアースポーン、日本エアシステムの現地視察が相次ぎました。また、空港建設予定地周辺集落説明会が十二月十八日行われ、県交通政策課より計画の概要が説明されました。

企業誘致については、ICメモリーカードのトップメーカーである、(株)フジソク(本社、川崎市)が現地法人(株)フジソクA・Sとして立地が決定しました。今秋十月ごろの操業を目指し準備が進められています。若者に魅力のある先端技術開発型の業種として、若者の定着やUターンの促進に期待が寄せられます。

第二次町の国土利用計画では、庁内十二名の職員による調査研究会が発足し、今年度中に計画素案をまとめる予定です。

第二土曜日閉庁がスタート

《総務課関係》 土曜閉庁方式による四週六休体制が、本年一月から役場を中心に第二、第四土曜日閉庁体制でスタートしました。

広聴活動の一環であるヤングマンテーブルが、昨年十二月五日、本年一月二十八日に行われ、空港、企業誘致などに活発な意見が出されました。

OA化推進では、軽自動車税年度対応システムを導入し、課税客体の確認、証明事務の効率化が図られました。現在、国民健康保険システムを開発中です。

《税務課関係》 冷害及び台風十九号災害による

鷹巣町役場は平成4年1月から

第2,第4土曜日が

休みとなります



1月11・25日
2月 8・22日
3月14・28日
4月11・25日
5月 8・23日
6月13・27日

次の施設はこれまでどおり業務を行ないます

- ▶町民課関係
 - 中央庁舎管理課
 - 選挙管理課
 - 町民課
 - 公民館
 - 子育て支援課
 - 子育て支援センター
 - 健康増進センター
- ▶教育委員会関係
 - 中央公民館・分館
 - 鷹巣町教育館
 - たかのす風土館
 - みちの子風土館
 - 小・中学校
 - 北・西幼稚園

※ 役場守衛室での受付は ○ 川生組、竜七組、藤原組 の発行は半金とあり
の受領、防火簿許可証 守衛で受け付けます。

〈問い合わせ先〉 鷹巣町役場総務課 電話62-1111 (内224)

平成三年度の減免は、町民税が四百八十人・百七十四万四千八百円、固定資産税が六百八十六人・二百八十一万八千九百円となりました。

四年度町民税の申告相談は、二月四日から行われていますが、公正、適正な申告が行われるよう努めてまいります。

《町民課関係》 恒例の消防出初式が一月四日行われ、功労のあった団員等の表彰を行いました。

交通安全については、昨年六月の死亡事故発生により、死亡事故ゼロ記録が六百五十二日でストップしました。一月九日、決意を新たに無事故祈願祭を行い、交通事故撲滅を誓いました。

福祉施策については、さらなる町福祉の充実を目指し、福祉サービスのニーズを把握する調査を実施しています。

《保健課関係》 成人病予防対策事業の一環である「生き生き健康教室」が、昨年十二月から二月まで五回にわたり、『自分の健康は自分でつくり守る』をテーマに開催されています。

献血事業は、本年度目標千六百五十本に対し、一月末現在、千三百六十三本(八二・六%)の実績、成分献血は一四〇・六%の達成率となっています。

ます。

ごみの分別収集徹底をはかる指定袋による収集は、成果が上がり、昨年同期と比較して全体で五百三十二トが減量されています。

葬祭場の建設は、地質調査、測量造成設計、建設設計業務の契約が締結されました。

冷害及び台風十九号災害による国民健康保険税の減免は、四百七十一件、一千三百七十六万七千円となりました。

フライト農業の拠点

集荷センター完成

《農林課関係》 昨年の稲作は、冷害及び台風十九号災害により作況指数八八と著しい不良となりました。一月末現在の米集荷数量は、限度数量に對し進捗率七七・一五%、また、一等米比率は九三・六七%となっています。

第三期山村振興農林漁業対策事業として進めていた、三農協事業連合による鷹巣町青果物集荷センターが完成。フライト農業の拠点として活用を高めてまいります。

米消費拡大推進大会が一月三十一日開催され、町出身の赤坂侑子さんの講演、小中学生による作文コンクールなどにより、米消費拡大の運動を展開しました。

県営土地改良事業による綴子農免農道は、米代川に橋桁が仮設され、四年度完成にむけて工事が進められています。坊沢地区配水対策特別事業は今年度で完成、美田古地区は四年度完成を目指しています。

農業災害復旧事業は、激甚災害の指定を受けたことにより、九〇%以上の高率補助となり、農地二十四カ所、施設三十六カ所の復旧工事が着手さ

れ、年度内復旧に努めています。



《商工課関係》 十二月末現在、「大太鼓の館」入館者は三万二千百六十一人（一日平均百十七人）、「湯の岱温泉」利用者は三万三千三百十八人（一日平均百三十八人）操業日数二百二十六日）となっています。

中小企業振興資金制度（マルタカ融資）利用状況は、十二月末現在、二十六件九千九百万円、利用残高百六十四件三億七千八百万円となり、預託額に對し三・七八倍の利用額となっています。

《建設課関係》 一月末現在における各種工事の発注状況は、六十三件三億九千九百万円、公共土木施設災害復旧費は三十一件一億三千万円となっており、工事中のものは工期内の完成に努めています。

除雪については、少雪にも恵まれ、早朝除雪は

十二月～一月で十回と少なく、道路状況をみて日中除雪で補完しています。

南中に柔剣道場が完成

《教育委員会関係》 かねてからの要望でありました南中柔剣道場が一月十六日に完成しました。東小改築に伴う用地交渉は、約七千二百平方メートルの買収にめどがつき、予算編成後、本計画にかかります。

月一回の学校週五日制が本年九月から予定されていることから、関係者の懇談会を開催し、意見の交換を行っています。

文化財保護については、県指定の大堤一里塚に石碑を建立し、羽州街道の保存と整備に努めています。



新たなる

飛躍

21世紀のまちづくり

平成4年施政方針



平成四年度は「町づくりの方向を決めるため」に、厳しい財政事情にありながらも、今、町の将来に向けて取り組んでいかなければならない課題を長期的展望にたつて明確にし、主体性を持って積極的に推進してまいります。

新年度は、

『大館能代空港を核とした町づくり』

『二十一世紀に向かっての福祉充実計画の策定』

『広聴活動の推進』

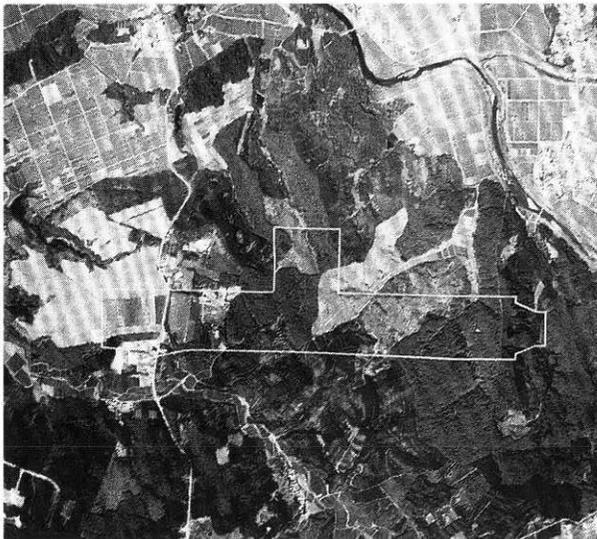
『種苗交換会への積極的支援』

など、重要な課題が山積みされております。

これら課題の解決にあたり、全町民の共通の意識と理解、そして一緒に行動し、共に喜び合える結果を出すために、均衡ある発展と活性化をはかってまいります。

《企画調整課》

- ①大館能代空港の早期建設に向けスタッフを増強します。
- ②企業の誘致活動を積極的に展開するため、県営大規模工業団地の誘致などに取り組みます。
- ③広く町民の意向を取り入れながら、第二次町国土利用計画の年内完成を目指します。
- ④「町づくり町民会議」を設置し、町民ニーズを反映した町政の確立を図ります。



《総務課》

- ①ヤングマンテーブルの取組を具体化し、町政に若者の声を反映させます。
- ②OA化を推進し、事務処理の合理化に努め、住民サービスの向上を図ります。

《町民課》

- ①「福祉のまちづくり懇話会」を設置し、町民が安心して暮らせる町づくりをします。
- ②在宅福祉サービスを充実させるため、ホームヘルパーの増員を図ります。
- ③老人性白内障の視力回復手術による眼内レンズ（人工水晶体）の費用を助成します。
- ④核家族化と就労婦人の家庭を補うため、保育環境の整備向上に努めます。
- ⑤町民の平穏な生活を守り、安全を確保するため交通安全、防犯、防災について、町民ひとりひとりの意識の高揚を図ります。



《保健課》

- ①「自分の健康は、自分でつくり守る」を主題に健康づくりを推進します。
- ②保健指導員の組織強化を図り、成人病予防対策

に努めます。

- ③ごみの完全分別収集の徹底に努めます。
- ④葬祭場の年内完成を目指します。
- ⑤老人訪問看護制度を支援推進し、老人の看護内容の充実や、生活意欲の向上、よりよいサービスの提供に努めます。
- ⑥鷹巣町外六カ町村衛生施設組合「し尿処理施設建設事業」は、建築確認了承後本工事に着手します。

《農林課》

- ①自立し得る魅力ある農業の確立、活力ある農村の実現を目指していきます。
- ②食糧需要の適正化のため主食米生産に向け努力します。
- ③良質米の生産拡大を進め、農家経済の安定化に努めます。
- ④青果物集荷センター稼働に向け、野菜、花き等の一定量の安定供給、品質の良質化を目指し、栽培技術の指導強化、集出荷体制の確立に努めます。
- ⑤二十一世紀の水田農業確立を目指した、綴子地区大区画圃場整備事業の早期完成に努めます。
- ⑥農村総合モデル事業により、集落道、集落配水、農道の整備を進めます。
- ⑦将来の国産材時代に備え、林道作業道開設、補修、維持工事を進めます。
- ⑧第一一五回種苗交換会は、町をあげてこれに応え、若者の定住と農業後継者育成イベントなどを企画し、魅力ある会場づくりに努めます。
- ⑨三農協の意向を見据え、農協合併を促進します。

《商工課》

- ①婦人就業援助のため、ワープロと縫製の技術講習会を開設します。

②商工業者の経営資金の効率化、円滑化を図ります。

- ③高校新卒者、Uターン希望者などに地元企業PRのためのガイドブックを作成し、町内企業の労働力確保に努めます。
- ④太太鼓の館を観光拠点として整備を進めます。
- ⑤町の特産品の開発と販路拡大に努めます。

《建設課》

- ①七日市（松沢線（葛黒バイパス）の改良工事、太田（糠沢線の防雪柵設置工事をはじめ、町道の改良・側溝整備・舗装新設・補修などを進めます。
- ②台風による中央公園の修復を進めるとともに、全体的な整備計画の策定に取り組みます。
- ③今年度から本格的に着工される公共下水道について、関係町内会、事業所に対し巡回説明を進めます。

《水道課》

舟木沢地区の簡易水道施設整備事業は、年度内の完成を目指します。

《教育委員会》

- ①東小学校の改築にあたり、木材の町にふさわしく、木の特性を活かした学校建築と、伝統ある労働教育を育む環境整備に努めます。
- ②生涯学習の推進体制を整備し、社会教育・社会体育・公民館活動のいっそうの充実を図ります。
- ③学校週五日制に対応するボランティアの養成や効果的な活用を図ります。
- ④「たかのす風土館」を中心に、芸術文化の振興を図ります。
- ⑤図書館機能の充実を図ります。

明るい町を築く町議会議員選挙

3月29日が投票日です



三月三十一日で任期満了となる町議会議員の選挙は、三月二十四日に告示され、三月二十九日に投票が行われます。町議会議員の選挙は、私たちにもっとも身近かで関心のある選挙です。「よりよい暮らしや、明日の明るい町はあなたが築く」ということを認識し、正しい一票を投票しましょう。

投票ができる人

町議会議員選挙の登録資格の基準日は三月二十三日です。その日から転出した場合は、三月二十三日以前から、当町に引き続き住んでいる方で、住民基本台帳に登録されている方、および投票日の翌日の三月三十日までに満二十歳にな

る方です。

なお、この選挙は、町の議員を選ぶ選挙です。投票日前に当町から転出した場合は、その日から投票権がなくなります。

午前七時から

投票を開始

投票時間は、いずれも午前

七時から午後六時までです。入場券が届いたら投票所、投票時間を確認してください。なお次の投票所は午後五時で閉鎖されますのでご注意ください。

▽明利又投票所 ▽三ノ渡投票所
▽葛黒投票所 ▽坊山投票所
▽岩谷投票所 ▽田子ヶ沢投票所 ▽黒沢投票所

不在者投票は

3月28日まで

不在者投票は、投票日の三月二十九日に仕事や用事のため、投票所に行って投票できない方のために設けられています。

投票期間と時間は、選挙が告示される三月二十四日から投票日前日の三月二十八日までの、午前八時三十分から午後五時までです。

不在者投票を行う方は、町選挙管理委員会に対して直接、または郵便で請求（指定病院に入院の方は病院長に請求）してください。請求用紙は選挙管理委員会にあります。

出稼ぎなどで遠く離れている方は、早めに請求するようにしてください。投票用紙は、告示日の二日前に請求者に郵送します。

■病院等での不在者投票

県の選管が指定した病院、老人ホームなどに入所している人は、その施設の中で不在者投票ができます。手続きは病院長などが行いますので、施設側に不在者投票の申し出をしてください。

■出稼ぎ先での不在者投票

出稼ぎ中の人や長期出張中の人の不在者投票の手続きは次のとおりです。

①町の選管へ宣誓書を請求する。（告示前でもできます）
②送られてきた宣誓書に不在者投票をする理由を書き、町の選管へ返送する。

③町の選管から送られてきた投票用紙を持って出稼ぎ先の選管で投票する。（同封されている不在者投票証明書は、ぜひ開封しないでください。開けてしまうと投票できなくなります）

※投票日までに町の選管に届かないと無効になりますので、早めに手続きしてください。

郵便による不在者投票

身体に重度の障害（両下肢一級、二級、心臓障害一級、三級等）のある人は、郵便に

子供達の未来を決める日。



3月29日

投票日

選挙人名簿定時登録者数

(平成33年9月2日現在)

投票区	男	女	計
鷹巣第1	991	1,165	2,156
鷹巣第2	841	1,039	1,880
鷹巣第3	968	1,121	2,089
南鷹巣	802	902	1,704
摩当	233	266	499
太田	183	198	381
掛泥	384	416	800
綴子	756	839	1,595
田子ヶ沢	97	98	195
岩谷	37	38	75
糠沢	346	379	725
田中	399	439	838
坊沢	596	645	1,241
緑ヶ丘	143	157	300
黒沢	25	24	49
今泉	211	233	444
前山	186	216	402
坊山	77	84	161
小森	218	225	443
沢口	236	256	492
川口	118	133	251
七日市	548	546	1,094
葛黒	123	127	250
竜森	91	87	178
明利又	43	47	90
合計	8,652	9,680	18,332



未来のためにしっかり一票

開票は午後七時から

開票は選挙当日の午後七時から中央公民館ホールで行います。結果は午後九時前後に判明の予定です。
開票事務参観については、会場の関係から一定の入場者が入ると、会場を締め切る必要があります。

投票入場券

町選管では、町議選挙の入場券を三月十八日に郵送します。もし配布もれの方がありませんでしたら、選管に連絡してください。

自分で書けない人は代理投票を

手にケガをしたりなどして記入できないときは、投票所で係員に申し出て下さい。代理投票の補助者に代筆してもらうことができます。
投票の秘密は守られますので、安心して申し出て下さい。

選挙のお問い合わせは

鷹巣町選挙管理委員会へ

(役場2階)

☎62-1111 (内線291) 直通62-4591

地域農業の再編に向けて

地域農産物の生産拡大と付加
価値生産活動をいかに進めるか

「鷹巣阿仁地域農業者研究交流集会」が二月十三日、交流センターを会場に開催され、秋田県農業試験場の阿部健一郎氏が「鷹巣阿仁地域の農業振興を考える」と題し、講演を行いました。農業再編に真険に取り組みをと呼びかける氏の講演要旨をご紹介します。

講師
秋田県農業試験場
主任専門研究員・農学博士
阿部健一郎氏



農業振興公社 の設立を

全県的に見て、農業のあり方が今後、今のまま進むならば従事者の高齢化と稲作の占める割合が高い状態がさらに続くでしょう。しかし、米価が上らない現在、稲作を合理化し、また米単作でなく野菜や花きの生産を増やしていく必要があります。

幸い、鷹巣阿仁地域には田んぼもあれば山もあり、気候差といった立地条件を生かした農業が可能です。また伝統芸能などのように農業に目を向けさせ、伸ばして行くための資源が非常に豊富です。こうした各町村の特色を生

かした農業を確立するために圏域による農業振興公社の設立を提案します。

複数農家が協力し 稲作の合理化を

当地方もまだ稲作のウエイトが大きいわけですが、機械にかかる費用を減らすなど、徹底した合理化が必要です。

そのためには兼業農家と専業農家が協力し、圃場集積と組作業人員を確保することで機械台数の削減、受委託の合理化を図ることで

野菜については、後継者難が生産拡大に結びつかない理由の一つですが、若美町のメロン栽培も最初は三戸から始めたように、若い人誰かが成功すれば少しずつ取り組む人が増えると思います。

これからは、都会にPRするため、農業の観光化を図ること大切で、ありきたりの観光地に飽きた都会の人たちに、農業を積極的に売り込みたいでしょう。

いずれ今後は、鷹巣阿仁部の各町村が連携し、集落、町村、圏域が一体となり、戦略的に農業を推進して行くことが当地方の農業振興につながるかと考えております。

町長日誌

岩川 徹

2月1日～15日

■1日(土) 四十二の厄年を迎えた卯竜会の会の懇親会に招かれて出席。今年一年の無事をお祈りした。

■3日(月) 西小六年の野呂佳子さんが韓国で開催されたアジアジュニアスキー大会回場で優勝。快挙の報告にみえた。このあともどしどし続いてほしい。

■4日(火) 広域管理者会議と広域定例会が交流センターで開かれ出席する。夜、

あいさつ、午後からはパネラーとして健康と福祉についてお話した。夜、今泉地区町長と語る会が開かれ懸案事項について話し合った。

■7日(金) ゲートボール協会定期総会に出席あいさつ。続いて、農協合併推進協議会があり出席。

■8日(土) 午後、坊沢地区町長と語る会が開かれ出席。夜、前山地区と語る会が開かれ遅くまで語り合った。

七日市奥部地区行政懇話会が開かれたが奥部の開発と生活環境の向上など地域の課題を話し合った。

■5日(水) 午前、米内沢病院議会があり出席。夜、商工会青年部主催新年懇談会があり出席し活性化について懇談した。また、バレーボール協会総会に出席。今年の行事等について懇談した。

■6日(木) 午前、保健補導員大会が公民館で行われ

■10日(月) 課長会議があり、事務執行は町民の立場に立つてと指示した。衛生議会が開かれ出席。

■12日(水) 空港促進協議会正副会長会議が開かれ今後の運動の進めかたについて協議した。

■14日(金) 現議員任期最後の定例会が始まり、新年度予算などの審議で二十六日まで開会される。

3月7日(土)午後6時30分～(たかのす風土館)

福祉のまちづくり特別講演会

講師 デンマーク・コペンハーゲン大学主任研究員 伊藤敬文氏

特別講演

「デンマークに学ぶ豊かな高齢社会」



伊藤 敬文(いとう ひろぶみ)氏(43)
 1948年 東京都に生まれる。
 1976年 コペンハーゲン大学社会学部卒。
 1977年 米国・ワシントン大学政治学
 部大学院修了。修士号取得。
 1978年 コペンハーゲン大学社会学
 研究所研究員。
 1981年 コペンハーゲン大学社会学部
 博士課程修了。同年社会学
 研究所主任研究員。
 1987年より、ヘルスプロモーションに
 関するWHO研究協力センター主任研
 究員を兼務。

二十一世紀、四人に一人が六十五歳以上という高齢社会を迎える日本、そして鷹巣町。今こそ真剣に高齢者福祉を地域全体で考えなければなりません。福祉先進国デンマークに学び、安心して老後を送れる社会を目指し、一緒に老後を考えてみませんか。お誘い合わせの上ご来場くださるようご案内いたします。

こんなにも
 老後が
 豊かだなんて

- ▼ 3月1日(日) ①12:00
 ②18:00 「新しい日本舞踊の会」(料)700円
 (問) 鳳扇会
- ☎ 佐藤66-2156
 ▼ 3月7日(土) 13:10
 「読書感想文コンクール表彰式」(問) 町立図書館
- ▼ 3月7日(土) 18:30
 「鷹巣町福祉の町づくり特別講演会・デンマークに学ぶ豊かな高齢社会」(問) 町民課
- ▼ 3月15日(日) 11:30
 「大正琴全県大会」(無料)
 (問) 琴修会
- ▼ 3月1日(日) ①12:00
 ②14:00 「新しい日本舞踊の会」(料)700円
 (問) 鳳扇会
- ☎ 石郷岡62-2489
 ▼ 3月22日(日) ①10:00
 ②14:00 「映画上映会」と
 なるのトトロ・風の谷のナウシカ」(料)前売800円
 (主) 鷹巣町連合青年会
 (問) 風土館・畠山
- ▼ 3月28日(土) 13:30
 「ルンビニ幼稚園ピアノ発表会」(主) ルンビニ幼稚園
- ☎ 小林62-1277
 ▼ 3月29日(日) 10:00
 「ヤマハ音楽教室発表会」
 (主) 北秋協販
- ☎ 石郷岡62-2489

たかのす風土館
 イベントガイド
 ☎2930311

第27回読書感想文
 第11回読書体験コンクール記念公演

朗 読

音楽の調べに
 のせて月
 ふたごの星☆ 宮沢賢治

朗キター演奏
 フルート演奏

近藤 テイ子
 佐々木 正昭
 佐々木 あかね

3月7日(土)PM 2:00～

たかのす風土館 入場は無料です
 お気軽においでください

主催/鷹巣町立図書館・鷹巣町読書会
 お問い合わせ ☎62-3311

みんなの健康、みんなの国保

医療費が伸びています

“体を大切にしましょう”

わたしたちは、毎日健康ですこやかに暮らしたいと思っています。けれども病気やケガは、ある日突然訪れるもの。国保の運営は、国費と皆さんの納める国保税によって支えられています。

人生八十年時代を迎え、それにもなつて高齢化社会が、社会問題として大きくとり上げられるようになってきました。これは単なるニュースで

はなく、もつと身近にとらえ、もつと私たちが考えていかなければならないことです。

二〇二〇年には、人口の高齢化が進み、国民の約四人に一人が、六十五歳以上のおとしよりになるといわれています。六十五歳以上の老人を支える働き手は、二・一人となります。

町の国保の状況は大変厳しい状況にあります。歳出の九六％は医療給付費です。そのため医療費の伸びが一番の心配となります。

平成三年度の決算見込みでみると、一般分が約五％の伸びですが、退職国保が一三％という著しい伸びを示しております。内容分析してみると、本人入院が二四％、扶養家族入院一四％増が大きな要因となっております。

老人医療費は、受給者増からみると予算内にとどまっていますが、一人当り費用額が五十四万円となっており、今後国保財政を圧迫するものと



◆財政安定化の推進◆

高額な医療費のかかる高齢者、また国保税の負担能力が低い低所得者層の加入者が多い国保は構造的に財政基盤が弱く、給付費の財源を国保税引き上げだけで賄うには限度があります。

このため、医療給付費適正化対策や国保税収納率の向上対策と合わせ、一層の健全運営を図るといふ観点から基金の確保を目標とします。

今後国保の安定的な運営を確保していくためには、基金の充実等財政基盤の一層の強化が不可欠であると考えております。

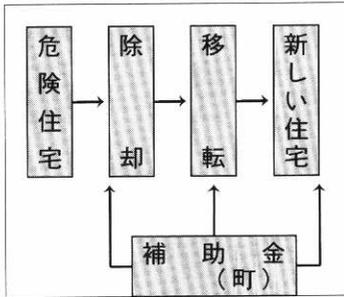
◆自分の健康は自分で守る◆
自分の健康に関心をもっていただくために全自動血圧計を各センター等に設置しました。

設置場所：坊沢公民館、綴子基幹センター、沢口林業センター、七日市基幹センター、湯の岱温泉、交流センター。

がけ地近接危険住宅移転事業のご案内

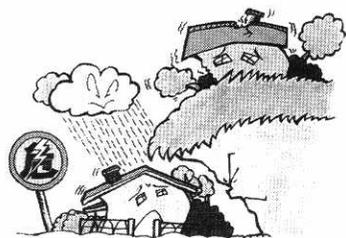
この制度は

がけ地の崩壊などにより、住民生命に危険を及ぼすおそれのある区域内に建てている危険住宅を安全な場所に移転を促進するため、町が移転者に危険住宅の除却に要する経費と新たに建設する住宅（購入も含みます）に要する経費に対して補助金を交付する制度です。



危険住宅は

がけ地の崩壊等の危険があり、秋田県条例で建築を制限している区域内にある住宅です。



補助金は

▼除却費・危険住宅の撤去費及び移転等に要する費用。
※平成三年度は一戸あたり六六万円。

▼建物助成費・危険住宅に代わる住宅の建設（購入も含みます）のため、金融機関から融資を受けた場合、借入れ金の利子相当額（利率は八・五％を限度とします）

※平成三年度は一戸あたり補助限度額二八七万円。ただし、土地の取得を要しない場合の補助限度額二一九万円。

▼お問い合わせ先 役場建設課 設計係 ☎ 62-1111

平成3年度1人当費用額

(平成3年度決算見込)

年度区分	被保険者数	平成2年度	平成3年度	伸率
一般分	5,830人	149,718円	157,135円	4.95%
退職分	1,150人	261,132円	295,274円	13.1%
老人分	1,670人	535,634円	540,075円	0.83%

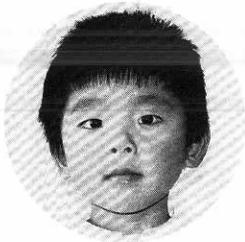
虫歯のない子



大町 大だ よしのりちゃん



太田 むらかみ しょうちゃん



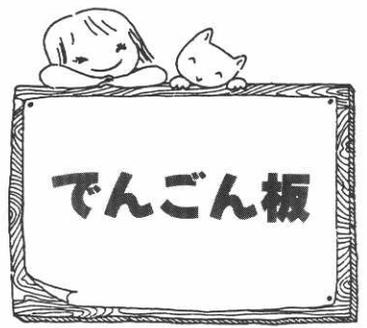
本屋敷 きくち よしひとちゃん



平崎上岱 はたけやま ゆかりちゃん



糠沢 さとう ともきちゃん



母子健康手帳 交付と妊婦教室

妊婦を対象とした母子健康手帳交付と妊婦教室の日程は次のとおりです。

- 母子健康手帳交付と第一回妊婦教室（必ず本人がおいでください。）
- ▽ 日 程 三月二日、十六日
- ▽ 受 付 午後一時から一時三十分（終了三時）
- ▽ 内 容 妊娠中の栄養、母

乳栄養、母子健康手帳の使い方、映画、むし歯予防

- ▽ 持参品 印かん、歯ブラシ
- 第一回妊婦教室
- ▽ 日 程 三月十二日
- ▽ 時 間 午前十時から三時
- ▽ 内 容 講話、妊婦体操、映画

▽ 持参品 母子健康手帳、トランプ、テキスト

昼食（主食のみ）

※場所はいずれも中央公民館保健相談室です。

はしかの

予防接種

はしかの予防接種を三月三日から六日まで行います。

接種券をお持ちの方は次の担当病（医）院で受けてください。

▽ 3日 藤原医院、午後二時

▽ 4日 奈良医院、午後一時三十分～三時

▽ 5日 北秋中央病院、午後一時～一時三十分

▽ 6日 しま内科医院、午後二時

※母子健康手帳を忘れずにお持ちください。

固定資産課税 台帳の縦覧

平成四年度の固定資産税の基礎となる固定資産税台帳を次により縦覧いたします。

○ 期間 三月一日から三月二十日まで

○ 時間 午前八時三十分～午後五時まで、土曜日

は零時三十分まで、ただし日曜日は除きます。

○ 場所 役場税務課

夜間当番医(夜間診療) 日程表

3月	曜日	医療機関名	電話番号
1	日	としま医院	62-1267
2	月	鷹巣病院	62-1210
3	火	戸嶋産婦人科医院	62-1123
4	水	近藤医院	62-1263
5	木	佐藤外科消化器科医院	62-1420
6	金	奈良医院	62-1146
7	土	北秋中央病院	62-1455
8	日	藤原医院	62-2882
9	月	佐々木産婦人科医院	63-0105
10	火	盛岡外科医院	62-1101
11	水	としま医院	62-1267
12	木	戸嶋産婦人科医院	62-1123
13	金	北秋中央病院	62-1455
14	土	近藤医院	62-1263
15	日	奈良医院	62-1146

守ってください『診療範囲』

○ 応急の診療を要する患者。
 ○ 往診はしておりません。
 ○ 仕事や職場の都合で夜間診療を受けるケースは、診療に応じかねます。
 ※年齢・病気の症状にかかわらず当番医に電話等でご相談を受けてください。

家庭・地域・学校で 育てる鷹巣っ子

～学校週5日制について～



新聞報道などですでにご承
知かと思いますが、学校の週
五日制が新年度九月から月一
回、土曜休校日としてスタ
トされる見通しです。

鷹巣町でも実施に向け、教
育委員会主催による『学校週
五日制を考える懇談会』を開
き、問題点や対応について話
し合ってきました。

出席者からは、「休日が増え
ることで学校行事の調整が必
要」「子ども達を受け入れる地
域づくりが急務」「中学校では
学力の維持に配慮」「土曜日と
部活動」「家庭教育の重要性」
などの意見が出されました。

本来、学校週五日制と週休

二日制は同一のものではあり
ません。学校週五日制は児童
生徒のゆとりある教育の実現
を目的としています。

子ども社会で失われつつあ
る人間関係、遊び・体験活動
などの回復のために、家庭や
地域での親子、子ども同士、
大人との交流、教育課程の編
成など、今後様々な角度で検
討しなければならぬ要素が
あると思います。しかし、あ
くまでも子育ての主体は家庭
です。家庭は、基本的な生活
習慣、生活技能、自然や人と
の触れあいなど、親子のきず
なを通して子どもを育てる基
本の場なのです。

教育委員会としては、実施
に向け課題を整理し、二十一
世紀の鷹巣町を担うたくまし
くゆたかな鷹巣っ子の育成の
ために、家庭や地域住民の方々
と連携を深めながら学校週五
日制に取り組んでいきたいと
考えています。今後ますます
町民の方々に、ご理解ご協力
を得なければならぬ機会が
あろうかと思いますが、よろ
しくお願い致します。

ホークスアカデミー

学生募集

教育委員会では、ホークス
アカデミー（鷹の学園）の生
徒を募集しています。国語、
社会などいろいろな学科を楽
しく学べるよう計画しており
ますので、どうぞお気軽にお
申し込み下さい。

▽期間 平成四年四月より二
年間（十二回）

▽対象 五十八歳前後から六
十五歳前後の方

▽定員 二十五名くらい（人
数がまとまり次第締切らせて
いただきます）

▽申込先 教育委員会（☎
62-1111）または中央公
民館（☎62-1130）まで。

ハローワーク求人情報

問い合わせは

ハローワーク たかのす

(大館公共職業安定所鷹巣出張所)

TEL 0186-62-1240

【男子】

【女子】

職 種	年 齢	基本給 (万円)	資 免	格 許	業 種	就業場所
管 理 者	30歳～ 45歳	24～30	運送業経験 4～5年程度		産業用衣類 輸 送 業	鷹 巣 町
フ ロ ン ト 及 び 営 業	20歳～ 25歳	10.6～ 11.8	普通免許		自動車貸渡業	鷹 巣 町
営 業	20歳～ 40歳	14.7～ 22.9	普通免許		自動車販売 ・ 修理 業	鷹 巣 町
商 品 販 売 送 配	18歳～ 30歳	12.6～ 17.6	普通免許		食 糧 販 売 業	鷹 巣 町
運 転 手	23歳～ 40歳	13～40	大型免許 普通免許		貨物運送業	鷹 巣 町
運 転 手	25歳～ 40歳	15～16	普通免許		家庭用L P 家 方 配 送 業	鷹 巣 町
運 転 手 又 は 積 込 作 業 員	20歳～ 55歳	15.7～ 18.7	大型免許		一 般 貨 物 業	鷹 巣 町
製 造 工	18歳～ 25歳	11.8～ 12.9	不 問		珪 藻 土 ろ 過 業	鷹 巣 町
配 管 技 術 者	18歳～ 35歳	11～ 14.5	不 問		管 工 事 業	鷹 巣 町
製 材 工	18歳～ 50歳	12～16	不 問		製 材 業	鷹 巣 町

職 種	年 齢	基本給 (万円)	資 免	格 許	業 種	就業場所
准 看 護 婦	18歳～ 40歳	10～15	准看護婦		医 療 業	鷹 巣 町
事 務 員	20歳～ 35歳	13.5～ 15.5	不 問		貨物運送業	鷹 巣 町
事 務 員	18歳～ 45歳	12～ 13.5	不 問		珪 藻 土 加 工 ・ 販 売 業	鷹 巣 町
事 務 員	18歳～ 40歳	9.6～ 12	簿 記 普通免許		婦 人 ・ 子 供 服 製 造 業	鷹 巣 町
事 務 員	不 問	12～13	不 問		化粧品・手芸 用 品 小 売 業	鷹 巣 町
経 理 事 務 員	20歳～ 30歳	11.5～ 13.5	経験3年以上 珠算・簿記3級		総 合 衣 料 販 売 業	鷹 巣 町
製 造 工	18歳～ 45歳	10～12	不 問		布 団 ・ 綿 業	鷹 巣 町
縫 製 工	18歳～ 50歳	10～13	不 問		婦 人 服 製 造 業	鷹 巣 町
縫 製 工	16歳～ 55歳	10～ 10.5	不 問		ニ ッ ト 婦 人 服 製 造 業	鷹 巣 町
製 箱 工	18歳～ 45歳	10～ 12.5	不 問		紙 箱 製 造 業	鷹 巣 町

春も間近なこの季節、鷹巣農林高校の農業科では今、花の販売実習を行っています。

現在販売している花は、サイネリア、アザレア、プリムラなど五、六種、それぞれ三百から六百鉢くらい。農業科の生徒が三人ずつのグループでそれぞれ五十鉢をリヤカーに載せ、街頭販売の実習をします。

値段も格安、一鉢三百円程度とあって、街ゆく人も足を止め、「安なー」と言いながら、冷たい風で頬を赤く染めた生徒たちから花の鉢を受け取っていました。

雪が消えると鉢の花はパンジーやデイズー、ペコニアに変わるそうです。



一足早く春はいかが？

～農林高校で花の実習販売～



除雪ボランティア

“ありがとうさん”

鷹巣高校の二年生百五十九人が、二月十二日、ひとり暮らし老人宅を訪れ、除雪の奉仕活動を行いました。

同校は、青山荘の体験学習やひとり暮らし老人宅の友愛訪問など、さまざまな奉仕に取り組み、平成元年度から二九年、文部省と県教育委員会から奉仕体験学習研究推進校に、昨年度からは、県社会福祉協議会からボランティア活動協力校に指定されています。

除雪奉仕は、ひとり暮らし老人に快適な冬を過ごしてもらうことを目的として行われているもので、この日は、南鷹巣や舟見町など十三世帯の除雪奉仕。寒い冬にホッと奉仕で、世代を超えた交流が図られていました。

秋田県コミュニティ・カレッジ

公開講演会

日 時 3月15日(日) 午後1時～2時30分

会 場 鷹巣阿仁広域交流センター

演 題 人生80年時代の学びを考える
～高齢化社会と生きがい～

講 師 岩手大学教育学部教授
駒林 邦 男さん

主 催 秋田県生涯学習センター
秋田県教育庁北教育事務所

※一般の方々の多数のご参加をお願いします。

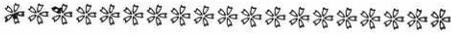
問い合わせは、

北教育事務所 ☎62-1217

町県民税申告相談日程表

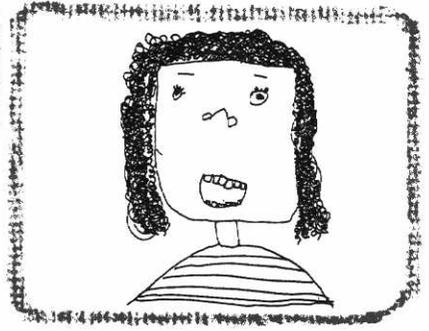
月日(曜)	申告会場	申告相談時間		受付時間
		午前9時～正午	午後1時～4時	
3/2(月)	沢口林業センター	堂ヶ岱、上野	中屋敷、小ヶ田	午前8時～午後3時
3/3(火)	〃	藤 株	脇 神、小摩当湯、車	〃
3/4(水)	〃	小 森	湯ノ岱、坊山、四渡、坊川、口	〃
3/5(木)	舟場自治会館	南鷹巣西陣場岱	舟 場、高村岱、高森岱	〃
3/6(金)	役場大会議室	住吉町、伊勢町	舟見町、新舟見町、東上綱、下家、西屋敷、北家、後西上綱、掛泥向、平成町	午前7時～午後4時
3/9(月)	〃	元 町、米代町	宮前町、東横町	〃
3/10(火)	〃	花園町、あけぼの町	材木町、大 町	〃
3/11(水)	〃	旭 町、幸 町、内幸町	松葉町、葉たばこ耕作組合	〃
3/12(木)	〃	指定日に申告できなかった人(混み合いますので人数を制限します)		
3/13(金)	〃			
3/16(月)	〃			

の広場



(5歳)

竜森保育園
はたけやま しょうごちゃん



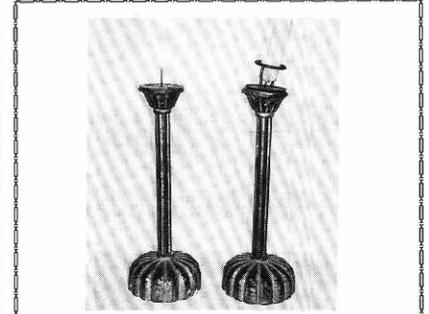
鷹巣小学校6年
三沢 秀一くん

今日のテーマ『中学生になったら』 ががんばりたいこと

中学校でがんばりたいことは大きく分けて三つあります。一つは、もちろん勉強です。中学校だと、英語や技術といった科目が新しく増えて、今までの国語なども、もっと難しくなるらしいから、まともについていけないようになります。

いからです。将来は、外国にも堂々と行けるように、英語もきちんと覚えたいです。そして、がんばりたいことの二つ目は、スポーツ(部活)です。小学校の部活では陸上をやりましたが、しっかりとやったのは大会の前の短い期間だけなので、中学校では何かの運動部に入り、汗を流してみたいです。それに、運動は苦手ですが、運動系に入らなければならぬという気持ちもあります。そして三つ目は、全てとまではいなくても、ちょうど

対談 わたしたちの意見



燭台(ろうそく台)

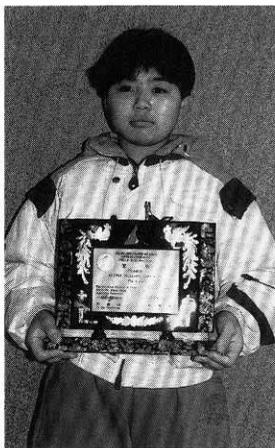
電灯のない時代、ろうそくを光源とした室内照明器具の一つ。この燭台は木製、金箔塗りで主に祭事用に使われたものであろう。多くは可動式であるが、祭壇などに固定されているものもある。昔の生活様式が浮かんでくるようだ。

〔松葉町 佐藤富雄さん〕

わたしの自慢

アジアジュニアスキー大会で優勝

西小学校六年 野呂佳子さん



このような良い経験を生かし、何事にもがんばって行きたいと思えます。

一月二十九、三十日に韓国のアルプス・リゾートスキー場で開催された、「第二回アジアジュニアスキー大会」に出場し、回転一位、大回転六位の成績を上げることができました。私は、初めての海外での大会ということで少し不安でしたが、一緒に参加した日本の選手の人たちとすぐ仲良くなれたので、合宿しているときのように楽しく過ごすことができました。ただ、各国の選手との交流の場がなかったのが残念なおかげです。心から感謝しています。これからも、このような良い経験を生かし、何事にもがんばって行きたいと思えます。

このような大きな大会に出場できたのも、たくさんの人たちに支えていただいたおかげです。心から感謝しています。

二十九日の大回転では、スキーが流され、思うように自分のすべりができなく六位と不本意な成績でした。三十日の回転では、一本目が二位で、一位との差が〇・〇一秒だったので、二本目はぜひ勝つぞと気合いを入れてすべりました。結果は逆転して一位になりました。

みんな



竜森保育園
はしもと あいちゃん(5歳)



良くバランスをとり、無理のないがんばり方をする事、この三つが中学入学後のぼくの目標です。

楽しみな寮生活



竜森小6年
鈴木 竹子さん

気持ちでいっぱいです。毎日友達と一緒にご飯を食べたり、勉強したり、お風呂に入ったりと、考えただけでワクワクしてきます。

でもちよっと心配なこともあります。決められた時間に起きれるかどうか、時間通りに行動できるかどうかという不安な面もありますが、一緒に生活する友達や先輩に迷惑をかけないように、足手まといにならないように気をつけてがんばりたいと思います。

中学校へ入る一番の楽しみは寮生活です。私の二番目の中二の姉が寮に荷物を運ぶのについて行くたびに、寮の中はどういうふうになっているのかなと思います。親と離れるのはさびしいけれど、早く寮生活をしてみたい

自分では自分のことは入ってから困らないように、今から洗濯などの練習もしています。中学校に入学するのが待ち遠しいです。

わが家のアイドル



畠山さつきちゃん (平成2年4月18日生)
久徳・淳子さんの長女…脇神字塚の岱3-2

2歳まじかのさつきちゃん、うれしいことにもうすぐお姉さんになるんです。おともだちのちびまるこちゃんも笑ってます。

昭和10年代の、鷹巣農林高校樹木見本園。この見本園は、農林高校が県立として現在の場所に創立されたときに、当時の生徒たちが樹苗を持ち寄って植樹したものであるといわれている。樹種は60種にも及び、昭和天皇が当地方の水害状況視察で行幸の際、親しく観察され、出発時刻を変更された逸話がある。



たかのすの移り変わり

おしらせ

確定申告



所得税の確定申告
(2月16日～3月16日)

三月の健康相談

三月の健康相談は、次のとおりです。

成人病相談は十一日と二十五日です。

時間は午前十時から午後三時までです。

午前中は血圧測定のほか尿検査、体重測定など、午後は慢性病予防教室で、ビデオによる健康教育「老人ボケを防ぐ」について行います。

リハビリ学級は十八日です。在宅脳卒中後遺症の方を対象に行います。時間は午前十時から午後三時までです。

※場所はいずれも中央公民館保健相談室です。

四力月児健康診査、七力月

児健康相談と離乳食指導は二十四日です。

対象のお子さん、受付時間などは次のとおりです。

▽四力月児検診 十一月生まれ、受付 午後一時～一時三十分

▽七力月児健康相談と離乳食指導 八月生まれ

受付 午前九時三十分～十時、母子健康手帳とバスタオルを忘れずにお持ちください。

※場所は、中央公民館ホールです。

二歳児歯科健康診査は十日です。

対象は元年十二月、二年一月生まれのお子さんです。

○受付 午後一時から一時二十分まで

○持参品 母子健康手帳、問診票、歯ブラシ

○場所 中央公民館ホール
三歳児健康診査は四日です。対象は平成元年一月、二月生まれのお子さんです。

○受付 午後一時から一時二十分まで

○持参品 母子健康手帳、問診票、バスタオル

※場所は鷹巣保健所です。

コミュニティ カレッジへのお誘い

秋田県コミュニティ・カレッジは、心の豊かさとしがいを求める県民のための講座です。

十八歳以上の方であれば、どなたでも参加できます。

あなたも参加しませんか。

▽会場 広域交流センター
間 日曜日、年間二十四回

○午前十時三十分～十二時
生活科学 気象、地震、火山からだの科学、他

日本文学 古事記の世界
与謝蕉村の世界他

○午後一時～二時三十分
秋田学 古代・中世史の中心の秋田、祭りと芸能他

美術工芸 水彩画の実技
水墨画の実技

▽申込み・問合せ先 秋田県教育庁北教育事務所(六六二-11217番へ)

献血にご協力を

献血車が次の日程で巡回します。

献血は気軽にできるボランティア。血液を待つ多くの患者さんのためにご協力をお願いします。

献血された方には、血液の生化学検査を無料で行っていただきますので、自分の健康チェックにもなります。

▽三月九日(月)

○北高等技能専門学校(午前十時三十分～十一時二十分)

○信用組合鷹巣支店(午前十一時三十分～十二時二十分)

○秋田サンリッツ(午後零時四十分～午後一時二十分)

○鷹巣警察署(午後二時三十分～四時)

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

▽小森 神成福太郎さんから

亡母チキさんの香典返し
大堤 三沢富士雄さんから
亡母キヨさんの香典返し
小森 神成八郎さんから
亡父熊蔵さんの香典返し
本郷 長岐一敏さんから
亡父小一郎さんの香典返し
綴子下町 高橋勝弘さんから
亡父勝蔵さんの香典返し

慶弔だより

2月1日～15日

誕生おめでとうございます

藤本 尚子(知利) 長女 宮前町

長岐 春菜(薫) 長女 中畑

成田 大地(徹) 長男 高野尻

三沢 翔吾(悟) 長男 元町

おくやみ申し上げます

櫻庭 房一(70歳) 蟹沢

神成 熊蔵(79歳) 小森

津谷 與之助(70歳) 相善

高橋 勝蔵(75歳) 下町

田村 サワ(84歳) 大沢

日景 直行(15歳) 旭町

畠山 スエ(86歳) 三ノ渡

今川 カツエ(81歳) 糠沢

村井 留美子(40歳) 赤坂の町